

放射線管理員のレベル・アップ教育

概 要

100217

1. 教育理念

- ①放射線管理に関する基礎的教育に力点を置いて教育を行う。
(物事の本質を把握できる能力を有する放射線管理員の育成)。
- ②放射線管理員としての人間性教育を行う。
(人とのコミュニケーション能力を有する放射線管理員の育成)

2. 教育方法

本講習は基礎的な事項については座学で行い、その後 PBL (問題解決型教育)^{注1)}で、具体的な課題を小グループの受講者に与え、受講者が協調しながら問題点を見出し解決する。この場合イメージーション(想像)とアソシエーション(連想)を図形で表現して思考を展開する。教育カリキュラムについては別紙に示す。

注1) PBL:Problem Based Learning (別紙1参照)

3. 受講資格

講習受講資格は放射線管理の実務経験2年以上を要する者。

4. 資格認証評価方法および基準

- ①放射線管理技術力に関する試験 50点
 - ②プレゼンテーション、説得力、リーダーシップ、統率力、管理能力に関する評価 25点
 - ③協調性、先見性、センス等に関する評価点 25点
- 上記①・②・③の合計が70点以上で、各項目では50%以上の成績の者を講習修了者とし、「放射線安全管理士」の認証資格を与える。

5. 資格認証の更新

資格認証は3年毎に更新

6. 受講料

30,000円/1人(2日間)

7. 講習場所

大阪 サンエイビル3階
東京 日本ビル2階
その他

8. 定員

1回の定員は20~30名程度